

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成27年度～平成31年度(5年間)									
事業実施地区名 (都道府県名)	最上村山森林計画区 (山形県)	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署									
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、山形県中央部に位置する最上村山森林計画区内の国有林野77,072haである。</p> <p>当計画区は、東は奥羽山脈、西は朝日山地、南は頭殿山、北は葦草森山と四方を山々に囲まれた盆地状の地帯で中央部を最上川が貫流している。林況は、スギ等の人工林が2割、ブナやナラとする天然林が8割を占めている。</p> <p>当計画区内は「磐梯朝日国立公園」、「蔵王国定公園」、をはじめとして優れた景観と自然環境を有する地域や森林レクリエーションの適地を多く有する地域である。</p> <p>これらの地域は、観光地、森林レクリエーション、名勝とが一体となって自然景観や風致を構成している森林であり、有名観光施設があることやアクセスが良いことから保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して製材業・木材産業が発達しており、キノコや山菜を利用した林産物加工業が山間地域の重要な産業となっており、主要河川の上流に位置する森林は穀倉地帯の庄内平野の用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>この地域に所在する森林は、木材の安定供給を通じた産業振興に寄与することが期待でき、貯水機能と炭素貯蔵の機能を有している森林については適切な森林整備を行い、これらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減と低炭素社会の構築に寄与し、公益的機能、水源涵養機能、木材生産機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては森林の有する公益的機能の発揮、低炭素化社会、地元国産材の需給率向上に向け植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた機能の発揮、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>5 9 3 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2, 3 3 4 h a</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3 0 . 9 k m</td> </tr> </table> <p>総事業費 1, 8 7 4, 4 4 6 千円</p>			森林整備	更新面積	5 9 3 h a		保育面積	2, 3 3 4 h a	路網整備	開設延長	3 0 . 9 k m
森林整備	更新面積	5 9 3 h a										
	保育面積	2, 3 3 4 h a										
路網整備	開設延長	3 0 . 9 k m										
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総 便 益 (B)</td> <td>9, 2 8 0, 9 1 2 千円</td> </tr> <tr> <td>総 費 用 (C)</td> <td>2, 2 0 1, 8 9 2 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B / C)</td> <td>4 . 2 1</td> </tr> </table>			総 便 益 (B)	9, 2 8 0, 9 1 2 千円	総 費 用 (C)	2, 2 0 1, 8 9 2 千円	分析結果 (B / C)	4 . 2 1			
総 便 益 (B)	9, 2 8 0, 9 1 2 千円											
総 費 用 (C)	2, 2 0 1, 8 9 2 千円											
分析結果 (B / C)	4 . 2 1											
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、用水源などの公益的機能の発揮、観光地を活かした林産加工品供給やスギ等の木材生産等を通じた地域振興の寄与が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 近年大雨による被害が多発している地区であり、土砂流出防止、水質浄化等の公益的機能が求められていることや、炭素固定等の地球温暖化対策、木材の安定供給、地元国産材供給及び国有林内での振興等、地域の各種要請に応えるため本事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業
施行箇所：最上村山森林計画区

都道府県名：山形
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,733,961	
	流域貯水便益	465,070	
	水質浄化便益	1,496,182	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,544,534	
環境保全便益	炭素固定便益	688,050	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	122,763	
	木材利用増進便益	23,208	
	木材生産確保・増進便益	584,347	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,622,797	
総 便 益 (B)		9,280,912	
総 費 用 (C)		2,201,892	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{9,280,912}{2,201,892} = 4.21$		

